

式 辞

本日ここに令和二年度宮崎国際大学秋季入学式を挙行できますことは、大きな喜びであります。

入学おめでとうございます。また、ご列席のご家族の皆さまにも、心からのお祝いを申し上げます。

本学の創設者大坪久泰先生は、平成六年、世界のそれぞれに異なった文化を、グローバルな視点から見つめなおすため「比較文化学」という学問を追求するための最上の環境を提供するために、宮崎国際大学を創設されました。国内外に多くの人材を輩出し、国際教養

学部は二十六年の歴史を刻んでいます。

本学の建学の精神は、「礼節・勤労」です。「礼節」の精神では、礼節を重んじ、自他の人間性を尊重し、自らを律し、他者の立場に立って物事を考えることができることを、さらに「勤労」の精神では、心身を勞して全てのことに積極的に努力することを理念としています。このような人間としてのあるべき姿を追求しつつ、学問を学びます。その学問がリベラル・アーツです。教養ともいわれますが、一言で言うならば、「物事を多面的にとらえながら、自ら良く考え、世界を知り、自然を知り、そして人を深く学ぶ学問である」と言えるのではないかと思います。

今年、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、私たちはこれまで経験したことのない日常を送ることになりました。大学で当たり前であった対面授業は実施できずオンライン授業を実施することになりました。このような経験を通して、今この瞬間をどのように生きるかを問われたように思います。そして、生きていくために必要なことは、これまでの体験や知識として学んできたことを、いかに繋いで考えていけるか、ということであることを再認識しました。

四年間の本学での学びを通して、一つ一つの点としての学びを線として繋ぎ、四年後、卒業するときには、これらの学びを繋いで一つの学びの面が出来上がることを願います。

この繋がれた学びの面は、社会に出たときさらに大きく成長していくものであると思います。

入学にあたり、「日々の学びを繋ぐ」という言葉を贈ります。

今というこの瞬間を大切にし、学びを深め、そして、良き友、良き師と出会える四年間にしてください。大学生活が、実り多きものとなりますことを心から願いまして、学長式辞といたします。

令和二年十月一日

宮崎国際大学学長 山下恵子